

有明海再生対策

【令和5年度予算概算決定額 1,765（1,765）百万円】

＜対策のポイント＞

有明海の再生に向けて、海域環境の保全・改善と水産資源の回復等による漁業の振興を図るため、有明海沿岸4県が協調し、**海域環境の調査、魚介藻類の増養殖対策**を行うとともに、**漁場改善対策**を推進します。

＜事業目標＞

有明海の再生

＜事業の内容＞

1. 海域環境の調査

- ① 有明海特産魚介類生息環境調査委託事業 600（600）百万円
有明海の再生に向けた有明海特産魚介類の最適な生息環境の調査を実施するとともに、有明海沿岸4県が協調して、産卵場や成育場のネットワークの形成等による資源回復に向けた調査を実施します。
- ② 国営干拓環境対策調査＜公共＞ 328（328）百万円
有明海の環境変化の要因解明に向けて、水質や底質及び生態系の変化等に関する調査を実施するとともに、環境保全対策などの対応を検討します。

- 2. 魚介藻類の増養殖対策（有明海漁業振興技術開発事業） 400（400）百万円
有明海の再生に向けた、有明海沿岸4県が協調して行う海域特性に対応した効率的な種苗の量産化及び効果的な放流手法等に関する技術開発を支援します。

3. 漁場改善対策

- ① 有明海のアサリ等の育成技術高度化実証事業 325（325）百万円
有明海の漁業者の収益性の向上を図るため、各漁場におけるアサリ等の漁獲量の増加に資する技術開発・実証を行います。
- ② 有明海水産基盤整備実証調査＜公共＞ 112（112）百万円
タイラギ等の資源回復のため、効果的に餌料環境の改善を図るための漁場の整備方策に関する実証調査を行います。

（関連事業）

水産基盤整備事業（水産環境整備事業）＜公共＞
養殖業成長産業化推進事業

11,698（12,252）百万円の内数
296（303）百万円の内数


＜事業の流れ＞



※ 事業の一部は、直轄で実施（国費率10/10）

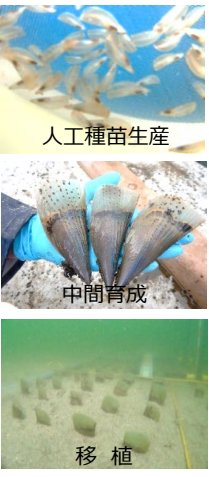
＜事業イメージ＞

アサリ



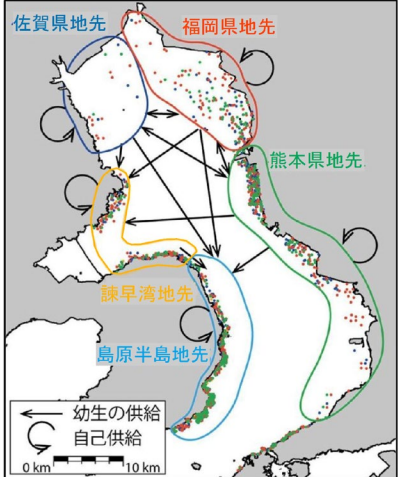
生息状況調査 採苗 海底耕うん

タイラギ



人工種苗生産 中間育成 移植

浮遊幼生ネットワーク



佐賀県地先 福岡県地先 熊本県地先 鹿児島県地先 諫早湾地先 島原半島地先

幼生の供給 自己供給

※ 図はアサリ浮遊幼生ネットワークの例を示す。

【お問い合わせ先】

（1の事業）	農村振興局農地資源課	（03-6744-1709）
（2の事業）	水産庁栽培養殖課	（03-6744-2385）
（3①の事業）	研究指導課	（03-6744-2031）
（3②の事業）	計画課	（03-6744-2387）